



福井県 永平寺町

第57号

令和2年2月7日発行

# 議会だより



がんばる団体

永平寺BVスポーツ少年団

(※ 最終ページに紹介記事)



2 新年議長挨拶

2 ~ 3 幼稚園・幼稚園施設再編計画

11 ~ 19 そこが聞きたい! 議員13人が一般質問

20 ~ 21 議会と語ろう会 10月23・24・25日実施  
【ダイジェスト版】

永平寺町議会  
facebook



永平寺町議会

検索

# 幼稚園・幼稚園施設再編計画

平成31年3月「幼稚園・幼稚園施設再編検討委員会」から、再編についての答申が提出されました。その答申に基づき町は、幼稚園・幼稚園施設再編計画の策定に取りかかりました。その中間報告が議会に提出されたので、議会は「幼稚園・幼稚園再編研究会」を立ち上げ、現在研究しているところです。

今回の特集は、その内容と効果等について一部掲載いたしました。ご意見等ございましたら議会事務局までご連絡ください。

## 答申内容(抜粋)

### 幼稚園・幼稚園の1クラスの適正人数

永平寺町の幼稚園・幼稚園の3歳児以上の同年齢の1クラスの園児数は20人程度が適正。

### 幼稚園・幼稚園の運営のあり方

- ①幼稚園・幼稚園の保育士・教諭等の働き方  
正規職員の確保と効率的な配置等についての検討が必要。
- ②公立・民間として運営  
民間による運営は公立では難しい多様なサービス展開が期待でき、保護者の選択肢の一つとして検討も必要。
- ③地域の子育て支援拠点としての運営  
今後、地域における子育て支援を行う機能を備えた「認定こども園」という選択肢も含めて検討が必要。

### ■将来入園児数の推移

	松 岡				永 平 寺				上 志 比			
	2015 (H27)	2020 (R2)	2025 (R7)	2030 (R12)	2015 (H27)	2020 (R2)	2025 (R7)	2030 (R12)	2015 (H27)	2020 (R2)	2025 (R7)	2030 (R12)
0歳児	34	41	38	37	10	6	5	4	7	7	6	5
1歳児	57	66	64	60	20	16	13	10	14	8	8	6
2歳児	73	85	79	76	30	18	15	14	16	12	10	8
3歳児	90	85	86	83	38	29	17	16	24	15	12	10
4歳児	104	79	88	85	43	18	19	16	20	10	13	11
5歳児	92	90	89	85	33	32	20	17	26	20	14	13
計	450	446	444	426	174	119	89	77	107	72	63	53

### ■保育士数(令和2年度推計)

	松 岡	永 平 寺	上 志 比	合 計
現 行	59	17	9	85
パターン1(7園)	58	14	9	81
パターン2(6園)	57	14	9	80
パターン3(5園)	56	14	9	79

### ■財政面(令和2年度推計)

	運 営 ・ 管 理 費			人 件 費	合 計
	松 岡	永 平 寺	上 志 比		
現 行	26,812	11,395	5,478	425,942	469,627
パターン1(7園)	23,612	6,540	5,478	414,611	450,241
パターン2(6園)	21,070	6,540	5,478	411,779	444,867
パターン3(5園)	19,977	6,540	5,478	408,946	440,941

## 新年挨拶



永平寺町議会議長

江 守

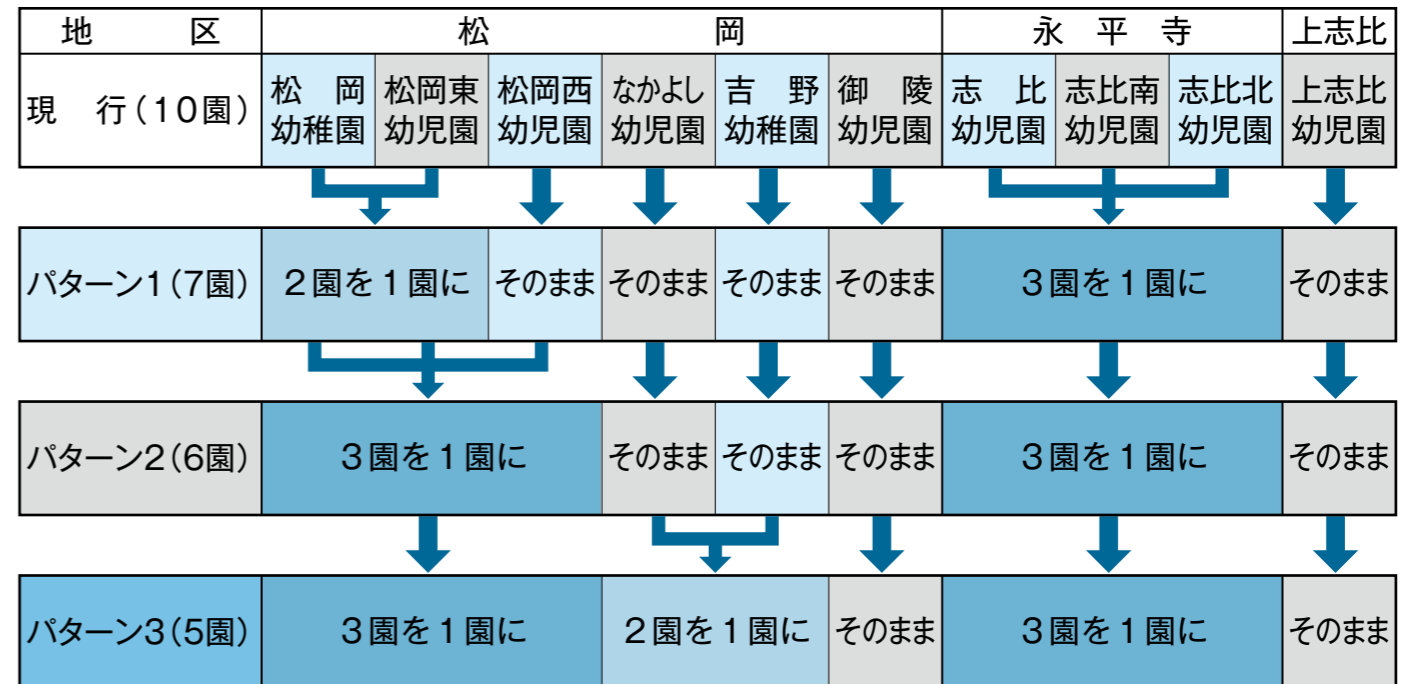
勲



あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。平素より議会活動に対し、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。子年は、未来へ向かって何かが育ち始める年と言われます。当町では、昨年7月に「永平寺町立在宅訪問診療所」が完成し、地域包括ケアシステムの構築に取り組み中、診療所と地域が支え合う地域づくり、自分らしい暮らしを続けるための体制づくりを行ううえで、医療施設の充実が図られたことにより、今後の地域医療の進展が大いに期待されます。

また、永平寺参道などで長期間に亘り行われた「自動走行実証実験」のほか、永平寺北地区と鳴鹿山鹿地区においては、有償ボランティアの住民ドライバーによるデマンド型交通の試走運行を行う「近助タクシー」が、11月から始まりました。昨年は、年号が令和に変わった節目の年に相応しく、永平寺町の新たな発展、活性化に向けた一年でした。本年は、自動走行や近助タクシーの実用化に向けた新たな展開の年となり、子年に相応しい更に飛躍する年になりますよう願っております。今年はいよいよ東京オリンピックが開催されます。聖火は、全国各地をリレーで巡ります。永平寺町においては、大木山永平寺周辺で聖火リレーが実施されることになりました。この東京オリンピックや、2023年の北陸新幹線敦賀開業を契機に、海外から当町を訪れる観光客に対するインバウンド対策、留学生や就労者等の外国人向けの対応も益々求められてきます。議会と致しましては「行動(考え動く)する議会」として、政策立案に注力し、独自性と継続性ある地方創生を進めるため、議員一人ひとりが、意欲・こだわり、継続の意思をしっかりと持ち、町行政との協働をしながらより良い町づくりのために取り組んで参ります。本年も、より一層の温かいご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。町民の皆様にとって、本年が輝かしく実り多き一年となることを心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。令和2年 元旦

### ■幼稚園・幼稚園再編計画パターン(検討中のため決まったものではありません)



# 令和元年 第3回定例会報告 (10月15日以降分)

令和元年第3回定例会での審議内容については、前号(56号)で途中経過をお知らせしましたが、それ以降、10月15日(火)・17日(木)・21日(月)に第1審議、29日(火)に第2審議、30日(水)に第3審議を行い、可決した議案は下記のとおりです。

## 第3回定例会議案

議案第37号 平成30年度一般会計および特別会計の決算認定について	認定	議案第53号 救助工作車購入の変更契約締結について	可決
議案第38号 平成30年度上水道事業会計の剰余金処分および決算認定について	認定	議案第54号 永平寺町森林環境譲与税基金条例の制定について	可決

## 議案への賛否一覧

議席順に掲載 (賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席) ※議長(江守勲)は採決に加わりません

	松川	上田	中村	金元	滝波	齋藤	奥野	伊藤	長岡	川崎	酒井和	酒井秀	朝井
議案第37号	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等3件については全員賛成です。

### 主な質疑応答

#### 平成30年度決算審議 第1審議

##### ◆総務課

**問** コミュニティバスの利用料、60才以上高齢者は無料、義務教育の小中学生は無料にならないか。

**答** 60才以上の高齢者は原則無料で利用者は伸びている。小中学生の半額制度は現時点で変更の予定はなく、現状で行きたい。

**問** 空き家等解体実績と今後の見通し、通学路の危険空き家は何件あり、何件対応完了か。

**答** 空き家解体実績は5件。空き家は今後増加すると予想するが、所有者の負担もあり、解体がそれに応じて急増するとは考えにくい。通学路の危険空き家は5件認知しており、内1件を30年度に解体撤去した。

**問** ◆財政課  
地方債残高推移の方向性は。H30年度地方債借入れは7億2千万円。既往債R元年度期首残高は約93億円、年間元利償還額は約8億円。未償還残高を増やさないためにも年間借入額はH30年度程度に抑制を図りたい。

**問** 基金残40億円、この額をどう

見るか。

**答** 県内8町の基金残平均は53.7億、財政規模に対する比率は本町64.2に対し、県内8町の平均は13.6%で、他の町に比べて低い。基金運用についてはH29年度に施設維持や町立診療所等の建設事業財源として活用するため財政調整基金から特定目的基金へ一部振替をした。

**◆総合政策課**  
**問** 住まいる定住応援事業の実績40件は昨年より減、どう捉えているか。

**答** H30年度実績が前年度比減となったのは制度が改正された影響かと考える。R元年度では上半期で29件の申し込みがあり、このまま推移すればH29年度と同等か、それを上回る可能性もある。

**◆住民生活課**  
**問** 特定健診の受診率は目標40%に対し38.1%、受診率向上策は。

**答** 福祉保健課・保健センター・健康活動団体・保健推進委員・商工会・シルバー人材センターとも連携・協力し受診率向上に向け取り組む。特定健診については県内で唯一全ての被保険者が無料ということで、今後もこの形態を進めていきたい。

**◆福祉保健課**  
**問** 健康福祉施設の決算書を示されたい。モニタリング報告、リニューアル計画は。

**答** 決算書はお配りした。モニタリングは来年度中には実施したい。リニューアルは健康福祉施設で行くのか誘客施設で行くのか、施設的な面積の上限があり、見極めが必要と考えている。

**◆総合政策課**  
**問** IOT推進事業、長野県小海町では市内にPJチームをつくり企業に営業に出ている。1件の実績をつくれれば弾みがつくのではと思う。計画期間を区切って実績数値を出して欲しい。

**答** IOT推進の拠点として、永平寺町の持っている値打ちや強みを感じさせる施設としてPRしていく。

**問** えいへい産学官連携プラットフォーム構築事業に於けるえい坊くんのまちづくり株式会社(決算と運営は)。

**答** (決算書配布) えい坊くんのまちづくり(株)(単位は百万円)当期純利益11.6、総資産24.4、純資産17.7(資本金5.7)。主な

事業①禅の里笑来運営事業永平寺町IOT推進ラボ運営事務「永平寺参ろうど」自動走行実用化研究事業等を受託。①禅の里笑来のH30年度収支内容・純売上高6.4、当期純利益2。R元年度上半期実績は稼働日数・稼働率・宿泊人数共にH30年度実績の2.4倍。今後の展開・観光農園の事業化調査検討、体験型観光商品の開発等を計画している。

### ◆子育て支援課

**問** 検討委員会答申では3歳児以上1クラス20人程度が良いと言いが、実態は。保育の質の確保こそが必要だ。

**答** 検討委員会のワーキングの中で、50人以下の園・50〜80人の園・100人以上の園の3パターンで、実態を踏まえてそれぞれの検討委員の中で検討した。また、町外施設の視察も踏まえて、子どもの発達のためには20人程度が良いという答申の結果であり、子どもの発達に必要な保育の質の確保を見据えた結果である。

### ◆商工観光課

**問** 越前加賀インバウンド推進機構負担金はいつまでか。費用効果は。

**答** R3年度以降も継続するかは今5市町で協議している。ただ、単独市町でパンフレットを作るにしても内容的には薄くなり、広域的に言語別に作れるなど魅力がある。今後の方向性として、北陸新幹線延伸や、関西万博計画もある中、やはり広域的取り組みをすることによる費用対効果もあると考える。

## 議案への賛否討論

### 平成30年度一般会計および特別会計の決算認定について

**◆反対討論 金元 直栄**  
一般会計決算・幼・保の統廃合問題で検討委員会答申を基に進めるといいますが、対象地域の振興策もなく、公約の地域振興組織づくりの取り組みや指定管理のあり方への積極的取り組みも見られないことから反対。国保事業特別会計決算・県一本化の中、国からの支援がある。国保税引き上げは反対。後期高齢者医療特別会計決算・低所得者の軽減率が増えられ負担増となっており反対。介護保険特別会計決算・基金がある中の保険料引き上げや軽度者切りもあり反対。以上議案37号認定に反対する。

### 賛成討論 中村勲太郎

現地視察、第1審議、第2審議と計5日間十分審議をした。特に、H29年度からの継続事業のIOT推進事業の進捗と今後の展開、H30年度からの住まいる定住応援事業の成果見直し、特定健康審査事業の受診率や健康福祉施設費の指定管理料等について審議を重ね、成果判定のKPIを適切に設定し一層の実績把握に努めること、事業実施に於けるPDCAサイクルの徹底、IOT技術導入取り組みから具体的な実用化促進等の提言を、次期予算に反映して頂くことを申し上げ、認定に賛成する。

# 令和元年 第4回定例会報告

令和元年第4回永平寺町議会定例会は、12月2日(月)から12月18日(水)まで17日間開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

## 第4回定例会議案

議案第55号 令和元年度一般会計補正予算について	可決	議案第60号 令和元年度農業集落排水事業特別会計補正予算について	可決
議案第56号 令和元年度国民健康保険事業特別会計補正予算について	可決	議案第61号 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第57号 令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算について	可決	議案第62号 附属機関設置条例の制定について	可決
議案第58号 令和元年度介護保険特別会計補正予算について	可決	議案第63号 地方公務員法および地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
議案第59号 令和元年度下水道事業特別会計補正予算について	可決	請願第1号 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の実行を求める意見書提出に関する請願	不採択

## 議案への賛否一覧

議席順に掲載 (賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席) ※議長(江守勲)は採決に加わりません

	松川	上田	中村	金元	滝波	齋藤	奥野	伊藤	長岡	川崎	酒井和	酒井秀	朝井
議案第61号	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第63号	反	反	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
請願第1号	賛	賛	反	賛	賛	反	反	反	賛	反	反	反	反

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等7件については全員賛成です。

総額 **5,126**万円

# 令和元年度 12月補正予算審議報告

【主な項目】

<b>総務費(人件費)</b>	<b>2,190</b> 万円
<b>IoT推進事業</b>	<b>500</b> 万円 <small>IoT推進拠点化のため、旧傘松閣に備品購入</small>
<b>住まいる定住応援事業</b>	<b>602</b> 万円 <small>計画件数を超える追加申請に対応</small>
<b>有害鳥獣対策事業</b>	<b>364</b> 万円 <small>野生イノシシ捕獲強化のため、捕獲報償費引上イノシシ成獣@1.4万円→2.1万円</small>
<b>中山間農業集落支援事業</b>	<b>487</b> 万円 <small>中山間集落の営農担い手へ補助金</small>
<b>県営道路整備事業町負担金</b>	<b>4,184</b> 万円 <small>道路改良工事：大畑松岡線、京善原目線 消雪リフレッシュ工事：永平寺町管内一円 雪寒道路整備工事：国道364号、大畑松岡線 雪寒地域道路工事：国道416号、北野松岡線、大畑松岡線</small>
<b>常備消防事務諸経費</b>	<b>174</b> 万円 <small>新採用職員 被服・防火服</small>

特別会計補正予算

国民健康保険歳入歳出 H30年度交付金負担金清算返還	<b>436</b> 万円	後期高齢者医療歳入歳出 H30年度事業費補助金清算返還	<b>27</b> 万円
介護保険歳入歳出 第8期介護保険事業計画策定他	<b>359</b> 万円	下水道事業歳入歳出 公共樹設置工事費189万円他	<b>205</b> 万円
農業集落排水事業歳入歳出 公共樹設置工事費126万円他	<b>109</b> 万円		

## 議案への賛否討論

12月補正予算主な質疑応答  
議案第62号 附属機関設置条例の制定について 第1審議

問 政治倫理や町の仕事を受ける民間業者についての管理機能強化は。

答 町が従来規則・要綱等に基づき設置していた委員および委員会の構成委員等について、地方公務員法の一部改正に伴い特別職の任用が厳格化されたことにより条例による根拠づけが必要となることから、附属機関設置条例を制定するもの。政治倫理に関しては兼業禁止および政治倫理条例によりすでに特別職の位置づけ。民間業者の扱いについては所管課の中で厳格化。

議案第61号  
一般職の職員の給与に関する  
条例等の一部を改正する  
条例の制定について

反対討論 金元 直栄

条例中、町会計年度任用職員の給与および費用弁償に関する条例の改正部分については、この制度が公務員を二重に区別する制度と差別を持ち込むこと。さらに年間雇用で保育士や看護師等の専門的技術を持った人々を採用したいとするのは問題だ。専門性に対する敬意が見られないことから反対する。

## 議案への賛否討論

賛成討論

滝波登喜男

今回の改正は、非常勤職員の給与等の環境改善となることで、何ら反対するものではありません。

反対討論

上田 誠

原則職員の給与改定であり反対するものではないが、保育士、給食調理師などの非正規職員の給与で同じ内容の仕事をしなが、非正規（会計年度任用職員）とのことで低い賃金体系とする条項である。資格を持つ専門職員としてまた、政府の言う同一労働、同一賃金の方針にも反するため反対の立場をとる。

議案第63号

地方公務員法および地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

反対討論

上田 誠

任期は1年契約、給与体系も低い設定である。同じ仕事をしながら（保育士、調理師専門職など）低い賃金体系の新たな職種を設定するものであり、同じ職場で同じ職権でありながら、区別された新たな階層を設け、恒久化する条例である。同一労働

働同一賃金の理念からも反するため反対の立場をとる。

賛成討論

伊藤 博夫

これまでは、非正規公務員の任用根拠が曖昧であり、今回の法律で非正規公務員の任用を明確にした、非正規公務員の任用期間も一年とし（次年度の再任用は可能）これら法律の一部改正であることから、賛成するものである。

請願第1号

全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の実行を求める意見書提出に関する請願

賛成討論

松川 正樹

提言された4つの項目熟読、熟考した。4点とも極めて当たり前の真つ当な要求。せめて訓練ルートや訓練時期の事前情報を教えて欲しい。騒音測定器を増やして欲しい。沖縄県民の切実な願い。我々町民も寄り添いたい。1960年に日米地位協定が締結されてから一度も見直されていらない。ペリー来航からの不平等条約が続いている。

反対討論

酒井 秀和

意見書の内容について異論はないが、国は米軍基地の問題について改善に向けた行動を慎重に行っているところであり、町村の権限、議会の権限に属する案件ではない。以上のことから本請願に反対する。

賛成討論

上田 誠

この請願は全国知事会で全会一致で採択したものであり、日米安全保障体制は重要だが、日米地位協定での国内法の原則適用や事件・事故時の立入権の保障、航空機騒音規制や訓練ルート等の事前提供の要求など、住民の不安・安全の配慮を要求するもの。全国知事会は基地所在の有無に関わらず、都道府県の共通理解を目的としている。国民共通の目的である。よって賛成。

反対討論

川崎 直文

全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の基地負担の軽減、日米地位協定の見直しは国が進めている状況であり、あえて全国知事会と同一の意見書の提出は必要ない。町議会としては「米軍基地負

賛成討論

金元 直栄

担に関する提言」を踏まえての基地負担の軽減を今後も継続して見守ることが大切である。

反対討論

酒井 和美

請願者は安保破棄福井県実行委員会であり、全国知事会ではない。知事会は提言後、適切な要請活動を行っている。また当請願が審議された一昨年前と現時点では国際情勢が大きく変化しすぎている。戦後日本の国家主権の地位向上があったのは日本文化を高く評価したライシャワー元駐日大使の存在があったため。日米地位協定について論じられるべきことは文化事業の充実と考える。

当委員会は、11月29日開催した。

- 1. 議員報酬 10月23日から町内9か所で行われた、議会と語ろう会での町民からの意見について協議した。町民からは、なり手不足の解消のための意見がたくさん出され、今後の議会改革の参考となった。
- 2. 議会の電子化 行政が来年度からタブレットを導入することから、運用規程の検討および議員用タブレット4台導入について。
- 3. 本議会主義 9月議会の反省点と解決策を協議、一般質問や決算審査の基本について再度確認することとした。

「平成30年度決算審議」指摘事項を踏まえて認定へ

# 新年度予算(令和2年度)に反映を!

10月2日の現地視察(予算執行状況確認)からはじまり、10月30日の採決までの29日間で本会議決算審議は終了した。議会では決算審議結果を、抽出し検討を重ねて新年度予算に反映すべく「決算認定に係る提言」として提出した。

## 平成30年度決算認定に係る提言

1. 指定管理制度を活用する事業については、事業所の決算書に基づき、決算認定に関する内容を説明すること。
2. 事業の効果については、KPI(重要業績評価指標)に対する実績値をとらえ、事務事業の成果を示すこと。
3. 事業の成果については、PDCAサイクルのC(検証)、A(改善)を明確に提示すること。
4. IoT推進事業は、より具体的に実用化を推進すること。
5. 将来を見据え、「まちづくり会社」の取組み、事業を明確にし進めること。
6. 空き家バンクの登録を推進して、住みいる定住応援事業の充実・強化を図ること。
7. 観光事業については、予算執行だけでなく、費用対効果を十分考慮すること。

(注) KPI(重要業績評価指標 Key Performance Indicator)

## 議会災害対応事業継続計画策定

総務産業建設常任委員会 委員長 中村勘太郎

12月13日に開催し、次の内容を慎重に審議した。

1. 本定例会委員会付託議案(1件) 請願第1号 全国知事会「米軍基地負担に関する提言」の実行を求める意見書提出に関する請願について

【意見書趣旨】 全国知事会は、基地等の所在の有無にかかわらず広く理解し、都道府県の共通理解を深めることを目的に「飛行訓練の速やかな情報提供」「日米地位協定の抜本的な見直し」など4項目の「米軍基地負担に関する提言」を国に提出している中、福井県からも国および関係機関に提言の実行を求めていくことが趣旨となっている。

【主な意見】 日米地位協定は締結以来一度も改訂されていない現状だが、運用改善は図られている。よって「全国知事会米軍基地負担に関する提言」の改善要望にある4項目は大切だが、国及び関係機関が改善に向けて進んでいる現状から、町議会としては見守ることが望ましい。

【採択の結果】 反対多数で不採択

2. 事務事業評価のまとめ 自動走行推進事業、有害鳥獣対策事業、

ブランド戦略推進事業各グループの活動状況を報告後、今後行政が効果的な事務事業を行うための提言をまとめた。

3. 委員会年間テーマについて 年間テーマのひとつ「議会と防災対応」について永平寺町議会災害対策支援本部設置要綱、永平寺町議会対策BCP(事業継続計画)を定めた。

町議会は町民を代表する議事・議決機関として、常に町民の負託に応え、その機能を存分に発揮する役割を担うとともに、町内に大規模な災害が発生した場合においては、被災町民の救援や災害復旧のために町と連携し、非常時に即応した機能を果たすことが求められる。このことを踏まえ、災害発生時に町の災害対応を側面支援・協力しながら町議会および議員がどのように対応すべきか共通の認識を持ち、迅速かつ適切な行動がとれるようにする。

4. 視察研修について 年間テーマである「弱体化する商店街の活性化」および事務事業評価の「ブランド戦略推進事業」について南青山291と、ふるさと祭り東京へ赴き、県外での広報活動や取り組みを確認し、課題と対策を検証する。

## 事務事業評価の総括実施

教育民生常任委員会 委員長 上田 誠

12月13日全員出席で開催し、次の内容で意見交換した。

- 事務事業評価のまとめ
  - ・一般廃棄物収集運搬費
  - ・一般介護予防事業
  - ・学校給食管理運営諸経費
- 各事務事業の評価について、各グループより報告、全員共有する。(12月23日全協にてまとめ報告提言)
- 年間委員会テーマ研究のまとめ
  - ・地域づくり・公民館活動
  - ・健康・元気づくり活動

年間テーマの研究について、設定した全体まとめを1月20日全協までにまとめ報告する。

■視察研修について

当初委員会として、それぞれのテーマの視察を検討したが、視察内容の候補地が離れているため、2グループに分かれて行うこととする。

候補地 一般廃棄物・ゴミ関係：京都、滋賀方面

教育関係：島根県方面

日程 1月20日(下)旬を予定

■その他

次回委員会開催日 1月15日(水)  
次回開催日までに年間テーマ グループ毎の打ち合せ委員会を設定する。(事務局に日程報告)

12月  
定例会  
一般質問

# 問&答 そこが聞きたい!

13名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。  
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

## 一般質問：目次

- 長岡千恵子 … 11P 金元 直栄 … 16P
- 中村勘太郎 … 12P 伊藤 博夫 … 16P
- 酒井 秀和 … 12P 上田 誠 … 17P
- 朝井征一郎 … 13P 川崎 直文 … 18P
- 松川 正樹 … 14P 滝波登喜男 … 18P
- 酒井 和美 … 14P 奥野 正司 … 19P
- 齋藤 則男 … 15P

## 問 お館の椿の将来は



長岡千恵子議員

## 答 後世に残るよう保護

**問** 松岡藩の史跡であるお館の椿の現状とその対処について伺う。  
**生涯学習課長** 古い椿の木は、地面近くで幹が分かれていて、片方は既に枯れている。枯れていないほうの幹も地面から180センチぐらいの高さに枝葉があるものの、それ以上は枯れている。椿の管理は、例年、専門家と相談しながら、施肥、薬剤散布、活力剤注入を年間を通して実施。今年度は、枯れが進行しているため、枯れている部分を切除して木の負担を減らしていく。二、三年は通常管理を行

**提案** 現状の場所は、松平昌勝公がお手植えになった場所と聞くので、その場所はそのままにして、椿の木のことを考えるともっと広い場所に移植することも木を後世に残すための一案と考える。



お館の椿

**◆里親制度の取り組み**  
**問** 国は里親制度の拡大を図っている。町としての対応は。  
**子育て支援課長** 里親制度を理解していただくことが第一。広報やホームページなどの媒体を活用して周知する。県も出前講座等を実施しているので、町はその支援もしていく。

## 視察レポート

## とがやま温泉「天女の湯」について

令和元年11月19日（火） 兵庫県養父市

官民連携手法による町おこしと公共施設の指定管理者による管理運営体制の実状を視察。行政主導のインフラ整備は限界があるということで、民間活力を最大限に活かし、人が訪れる町、健康長寿の町づくりにPFI、CM等、官民連携手法を採用して町おこしを図る。

H28年度天女の湯入込数73.3千人。契約期間H14/12～15年間、H30年経営主体交代。専門家による検証委員会による課題検証により、経営管理上の問題をチェックすることは本町も参考に。



## 情報公開制度・通年会期制について

令和元年11月20日（水） 大阪府島本町

S59年JR島本駅の誕生時に、土地区画整理事業があり住民に情報公開の関心が高まる。当時の町長が住民参加の町政を進めるには、住民の知る権利の保証は不可欠として「情報公開」と小学校区毎の「住民委員会」立上げをセットで進めた。その後「住民委員会」から、議員や町長が出ている。通年会期制導入も、実務的なやりやすさを優先している様で、年4回の定例会+必要あれば臨時会のペースで普通に運用されている。



## 保育園の再編・民営化について

令和元年11月20日（水） 京都府大山崎町

私鉄駅開業に伴う子育て世代の流入増から保育所入所児童数がH28年にはH15年比50%以上の大幅増となる。定員100名の町立第2保育所は開設45年と老朽化が進み、受入拡大は困難と判断。第2保育所を民営化し定員170名の新たな施設建設を計画し着工。後に、希望者には民間と公立の選択を可能とし、第2保育所も4年間存続させることに。結果的に公立園は存続させ、民間園（定170）+1の純増（H31.4開所）と、その他小規模保育施設+2で待機児童を0に。



- 園の施設整備費：民営には国の補助金があり、町の建設費用負担は1/4（条件により1/12）と、大幅な軽減となる。
- 園の運営経費：民営には保護者負担の保育料を除く金額の3/4の国・府（県）負担金が入るため、町の負担は公立園の1/4となる。
- 施設の建設費負担と以後の運営経費の財源確保・財政負担を考えての民営化対応だが、現在の一時的入所児童数増の後に続く、人口減少トレンドと町の自主財源減少を考慮すれば、当然の検討と考える。

# 問 空き家等での定住促進について

## 答 所有者と管理者等へ指導し 補助制度の周知



朝井 征一郎 議員

倒壊など著しい危険性がある空き家が増えており、特別措置法が施行され、所有者に対して撤去や修繕を勧告できるが、空き家の改善は進んでいない。いま現在の状況は、人口減少高齢化、担い手不足で、家屋や農地が管理できず、荒れ放題を食い止める手段として何かないのか。住んでいない家屋や、使

っていない農地を再利用できる制度はないのか。  
総務課長 現在、空き家対策検討委員会の承認を得た後に取壊しを確認し、補助金を交付して、空き家の改善に努めている。  
今年度の空き家の調査で、空き家が288件、廃屋が39件、計327件。今後も関係課と調整しながら、所有



町内の空き家

者への適正な管理、指導をしていく。  
建設課長 空き家バンクへの登録を促し、登録物件を増やすことが重要で、空き家所有者に働きかけていく。空き家の再利用に関する制度として、子育て世帯と移住者への住ま

【その他の質問】  
問 幼児教育・保育の無償化について、保育希望者が増えて、この先待機児童が増えるが。  
答 町においては、この幼児教育・保育の無償化で入園者が増えることは想定していない。  
問 無償化を機に保育の質の低下はないか。

答 無償化で保育の質は低下していない。町の保育士はしっかりと保育をして質の向上に努力している。今後とも働きやすい環境づくりに取り組んでいく。

# 問 幼稚園・幼稚園施設 再編計画の報告は

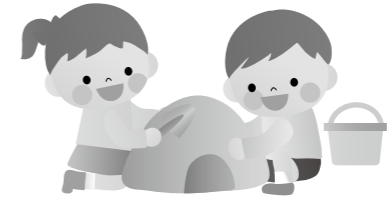
## 答 望ましい幼保児教育を目指す



中村 勤太郎 議員

幼児教育の基本的な在り方が最重要課題だ。幼児教育の中で一番大事なことは、多くの同い年の子ども達との会話や触れ合い。子育てに優しい本町の町づくりであってほしいが。  
子育て支援課長 子どもも同士、友達との会話、コミュニケーションは大事。互いに学び合う主体性や、協調性が育まれ、再編に当たっては同年齢の集団の中で学び合う環境整備を重視し、子ども達にとって望ましい幼児教育・保育教育を目指す。

入園児数、保育士数、運営形態、財政面での方向性を示す中、子ども達の平等な教育の在り方を重要視された上で、必要保育士のゆとりある定数の確保、および、保育士の待遇等々による取り組みは。  
子育て支援課長 施設再編においては、どの園においても同じような教育・保育環境に近づけるよう全ての園児が平等な幼児教育を受けられるように考える。しかし、どの園でも同じカリキュラムでの保育環境を実施した



いが、園によっては、園児の減少で集団活動的な行事ができにくくなっている園もある現状だ。また、保育士の確保については、来年度より会計年度任用職

員制度により、処遇改善が図られ、子ども達への教育・保育の原点から、保育士の確保に努力する。

【その他の質問】  
問 JA永平寺合併計画による町の支援は。  
問 九頭竜川遊漁者の安全対策は。  
問 町立図書館利用者の十分な駐車場の確保を。

を伝達している。職員行動指針は様々な所属課から人選し、議論を重ねることや全職員が納得・浸透させることが大事だと思う。その点、本町では管理者会

などの会議で課題と情報共有の手段は出来ているため、今後も全職員が町民の視点に立って自分の事として物事を捉え行動するようにしていきたい。

【その他の質問】  
問 危険遊具の今後  
答 来年度当初予算で予算計上し、使用禁止14基中、8基の撤去と6基の改修を進める。

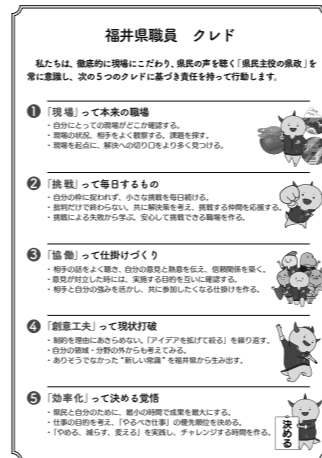
# 問 職員行動指針の明確化を

## 答 課題と情報共有の手段は出来ている



酒井 秀和 議員

福井県職員クレド（一人ひとりの行動指針）が本年9月に発行された。この取り組みが非常に良いものだと思っている。と同時に県が20代から30代の若手職員10名で検討チームを作り、作成に当たったという点が若手職員との繋がる良い機会だったと感じている。是非同様の取り組みを町



県の若手職員で作成した「福井県職員クレド」

でも町民が主役となる町政を実現するために行って欲しい。日頃町民から指摘されている行政対応の改善につなげて欲しいという思いから、職員の行動指針明確化を図るため「福井県職員クレド」と同じ様に、町民指標をもとに永平寺町版クレドを作成して欲しいがどうか。  
総務課長 現在、町では職員行動指針はないが仕事に対する指針については毎月定期的な管理者会を開催し方針や方向性を確認している。さらに各課では課内会議を開催し各職員に町の方針や方向性

# 問 九頭竜川流域の河川災害対策は大丈夫か

## 答 浸水や冠水のおそれがある地域は把握している



齋藤 則男 議員

**問** 九頭竜川流域における洪水等による氾濫や浸水、冠水の恐れがある地域の予測、堤防の決壊の危険が予測される箇所等はあるのか。

**建設課長** 国や県におきまして、大雨により河川が氾濫し、堤防が決壊したときの浸水の範囲や深さを示した浸水想定区域を作成している。本町では、水

防法の改正を踏まえ、来年度ハザードマップを作成し、各戸に配布する。

**問** 町として、国や県に対し、九頭竜川流域の危険と思われる箇所等の堤防や、護岸工事の施工、対策に、強力に働きかけをしていただきたい。



九頭竜川

**町長** ハード面、ソフト面、両方合わせてしっかりと取り組んでいきたい。

◆地区要望事業は地元と連絡調整を十分に

**問** 地区の要望事業は、区長、また地権者との連絡調整等を十分にしていたかどうか。

**完成検査や、引き渡しのときには区長の立ち会いを実施していただきたい。**

**建設課長** 軽微で修繕的なものは除き、事前に区長等と現地立ち会いのもと、工事内容を説明し、施工している。

完成検査時の区長等の立ち会いについては行っていませんが、今後は立ち会いの有無を確認して対応していきたい。

◆限界集落への対策を

**問** 地区の自治組織や地域の集落が壊れてしまつと、地区の自治や防災はどうなるか。廃屋や荒れた農地や宅地が増え、地域が荒れてくる。

**町長** 真剣にいろいろな角度から考えていかなければいけない。

# 問 多すぎる宿題が不登校を生まないか

## 答 ここ3年、その事実はない



松川 正樹 議員

**問** 学校は子どものために良かれと宿題を出す。子どもの方も真面目に勉強しようとするが、多すぎたり難しすぎたり、無意味な宿題もある。その時ひどく先生に叱責されたり、執拗に追求されれば子どもは傷つき、落ち込むこともある。できない子はできない。無駄な時間と体力の消耗戦だ。子ども達の言い分にも耳を傾けたら！宿題が重荷の子にも優しくして頂きたい。

**教育長** ここ3年、多い宿題が不登校の原因という事実はない。学校は各教科の宿題の量は調整している。個人差が一番の問題なので、放課後個別指導もしている。



多い教科書

◆給食調理師募集が不調だった

**問** しばらくの間に3人の調理師が辞めて募集を急いだ。応募は全くなかった。やむを得ず派遣会社に求めた。なぜこうなるのか。アンテナを張っていない。日頃リスベクトと感謝の気持ちを込め、意思疎通を図らな

**学校教育課長** 仕事がついていない学校では増員している。来年度からの会計年度任用職員制度により時給も上がる。全員との個別面談もした。

# 問 本町の未来を作る子育て支援とは

## 答 優先すべき支援を多角的にバランスよく行う



酒井 和美 議員

**問** 出生率が低下する本町ではH29年度には出生数107人、出生率5.6%。子宮頸がん検診について、近年HPV併用検査により前がん病変時点での発見が可能になり子宮の温存に役立つと聞く。

**福祉保健課長** 課題を、県・健康管理協会・医師会と相談して体制整備に努めたい。

**問** 生きづらい子ども達への取り組みは。

**子育て支援課長** 保育士の加配。保育カウンセラーや大学の先生が園を巡回。保育士支援、保護者面談。保健師や県支援学校とも連携。



土砂災害特別警戒区域に立つ教育施設

育支援員23人とも面談中。

**問** 「子育てフェア」町の取り決めは。

**学校教育課長** 園小中高大と進学の際には、保護者の同意を得

て次の学校に引継ぐ。卒業後や支援が必要なようになったときには、保護者に返却し家庭保管を依頼。

**問** 幼児園幼稚園再編計画について、県土砂

災害ハザードマップで特別警戒区域に位置する園があるが安全面の検討は。

**子育て支援課長** 安全は最も大事。計画策定に考慮。





金元 直栄 議員

## 問 洪水対策と町のハザードマップ

### 答 町も国・県へ提案していく

**問** 今年は、台風や豪雨の被害も甚大だった。特に堤防の決壊と河川氾濫域の多くは、ハザードマップに示された通りだった。マップが作られて10年が経つが、危ない場所の対策改修は行われたのか。永平寺川もダムが出来たから安全ということはないはずだ。

**建設課長** ハザードマップは来年度に見直すのが、本町の氾濫域は九頭竜川や荒川が中心で、国、県管理河川となる。町も積極的に提案・要望をしていきたい。

**◆幼児・幼稚園の統廃合問題**

**問** 園の適正規模についての答申に、子ども達には切磋琢磨する規模が必要とあり、これに基づいて3つの統廃合案が示された。ストレスを与える規模の園が必要というのが第1の問題。第2は、周辺地域に若い人が住まなくなる方向へ一歩進むことになる点だ。町長はこの間、周辺地域振興の方向性を示さず取り組んでいないのが問題。

**町長** 私の考えがまだない中では、保育のあり方がどうあるべきかの答申は重要だ。手順を踏んで私の考えを示したい。

**副町長** 幼稚園がなくなっても地域じまいにならない地域であってほしい。

**子育て支援課長** 子どもは遊びの中で学べる

## 問 町職員の人財育成等は

### 答 政策提案の実践的な研修

**問** 人材育成には階層別、職員別など外部研修のほか、政策形成の向上を目的とした環境の変化に対応できる職員の育成をどの様に取り組んでいるか。

**総務課長** 自治研修所や全国市町村国際文化研修所等を活用し、政策提案の実践的な手法を修得している。

**問** 女性の視点、発想を積極的に町政運営に反映できる組織とするには、女性職員の育成にとつて出産、育児等により昇格等が遅れた場合、昇任制度はどのようになるのか。

**総務課長** 育児休業中の昇格・昇格は町条例



伊藤 博夫 議員

により在籍期間や人事評価等総合的に判断し運用している。

**問** 他県において大災害時に非正規職員を使用することが出来なかったが。

**総務課長** 災害時でも任用書に基づき業務を継続的に続行するため勤務することとなる。但し、災害復旧等で人手が不足し緊急的な場合は臨時的に任用する場合もある。

**問** 本町のこれまでの非正規職員の現状は。

**総務課長** 特別職非常勤職員は、議会議員、農業委員会の委員、選挙委員会の委員。固定資産評価委員、教育委員会の委員、学校医、鳥獣被害対策実施隊員、図書館協議会委員、スポーツ推進委員等の職が該当する。

**問** 新制度に移行する人員職種は。

**総務課長** 会計年度任

## 問 園の統廃合地域の若者・子どもが消滅

### 答 3月に計画案提示後住民説明する



上田 誠 議員

**問** 幼稚園の統廃合3パターンが示され、来年3月に結論。集団生活で切磋琢磨し自立、協調、創造を学ぶには20人以上が適正規模との判断。適正配置なのか。

**子育て支援課長** 再編検討委員会計6回、現状、園児数、アンケート等を重ね、幼児教育のあるべき姿は3才以上20人程度が望ましい

いとこの答申を尊重し再編を策定。

**問** アンケート結果では■選ぶ理由、近い72%、学区45%。■少ないと不安10人以下74%、それ以下14%。■多いと感じる60人以上55%、40~10人20%。■再編は6%、今はすべきではない(数が減った時検討41%施設の老朽の時37%)79%。結果からは、20人が必

ずしも適正であるとか、今すぐの統廃合は望まず、老朽や定員、送迎の課題で改善の要望。

**子育て支援課長** アンケートの1項目だけでなく、保育のあり方、求める姿、望ましい環境、現状を総合的に勘案し、3才以上20人の結論とした。

**問** 幼児期の発達発育は各々個々でその差は大きく、画一的な集団の中、切磋琢磨での能力要求に不安。子育て支援の当町として目の届くきめ細かな保育は、20人でなく、地域性から10人であっても

よう、一定の数が必要だ。

**◆大人のひきこもりへのスタンスは**

**問** 大人のひきこもりが社会問題になってい

る。社会的要因が原因という人も多いとの報告もある。町として調査が必要だ。

**福祉保健課長** 現状は家族からや、また民生委員や包括支援センタ

1から報告を受け、支援につなげているが、対応は難しい。なお、町での実態調査の予定はない。

用に移行する職種は29で、236名を予定。主に一般行政事務補助員、保育士、児童クラブ指導員、栄養士、公民館主事、用務員、調理員等。

**問** 同種に携わる「会計年度任用職員」で、フルタイムとパートタイムの賃金等はこのようになるのか。

**総務課長** 一週間の勤務時間が常勤職員と同

一であるものをフルタイム職員、常勤よりも短い時間であるものをパートタイム会計年度任用職員とする。賃金等は条例で定められた給料表が基本となる。

良いのでは。

**子育て支援課長** 集団での学びの環境は、画一的と思わず、安全第一の現況で答申を重視し、論議が必要。

**問** 共生社会、支え合いの町には若者、子どもが住む地域が必要。地域の核がなくなる

と、そこに住む必要ま

**町長** 最終の決定ではなく住民に説明し、声を聞いて判断する。

【その他の質問】  
問 保健計画、地域福祉計画について。  
問 介護予防交付金について



# 問 九頭竜川河川敷の雑木林伐採

## 答 国交省今年度伐採着手

**問** 渡新田付近の九頭竜川河川敷の雑木林は、台風時に水を堰き止め堤防越水の原因に。早急に国交省へ伐採要請を。御陵地区最西部は過去にも内水氾濫有、排水対策は。建設課長 今年度伐採着手を国交省確認。内水面氾濫対策は災害時応援協定により、配水ポンプ車等機材を借用し対応。



奥野 正司 議員



渡新田付近の河川敷雑木林

**問** 町内区別人口減少度から診るエリアの衰退段階：減少中95%、増加中5%。進む人口減少と地価低落を防ぐ喫緊の有効対策は中核都市中心部への安全な高速交通体系整備。即ち追分口迄整備された勝山街道片側2車線の松岡迄の延長必要。町長 町の特性・立地条件に合わせた施策を検討して行く。

**【その他の質問】**  
**問** 就労支援事業所発注状況は。  
**答** SELP品の今年度発注目標150万円、現状58万円。通年で目標達成見込。  
**問** H30年金額比では県下8町の内6位、町民一人当たり8万5千円、最低の62万円。挑戦目標設定を。障がい者雇用促進状況は。  
**答** 障がい者雇用促進法に対し10月一人任用増で不足解消。  
**問** 5名で不足解消というが、障がい者

**【その他の質問】**  
**問** 雇用促進法の法定雇用率25%達成には6名必要。数値合わせでない法定雇用率達成を。  
**問** 町民を運ぶバス：翠荘発着の御陵地区コミュニティバス、5便、6便は松岡の終業や部活終了の時間帯に5分前や5分後に発車。松岡中からの移動時間あり、結果的に乗車できないダイヤ。  
**答** 前回見直し時に小中学の時間を聞きダイヤ編成。学校との連携を確認し対応する。

# 問 若者が参画するまちづくり推進は

## 答 地域活動・各種事業への参加推進



川崎 直文 議員

**問** まち・ひと・しごと創生総合戦略の学生・若者参画によるまちづくりフォーラムの開催の実績は。総合政策課参事 まちづくりフォーラムは、平成29・30年度に、県立大学の永平寺町学の成果発表として開催。



まちづくりフォーラム  
昨年1月に「えい坊館」にて県立大学の永平寺町学の受講生が4つのグループで、授業での学びと自分たちが考える町の活性化策について発表。

学生以外の若者の参加が少ない。意見交換の場などに若者にどのように参加していただけたかが課題。  
**問** 令和2年度から始まる次のまち・ひと・しごと創生総合戦略でどのように捉えるのか。  
**答** 総合政策課参事 福井大学や県立大学との連携と同時に、次の担い手である若者や学生の活動が見えるような機会をさらにふやす。関係課とも連携し、地区や町の取り組みに

# 問 学校のあり方検討委員会の取り組み

## 答 教育上、望ましい環境を



滝波登喜男 議員

**問** 学校のあり方検討委員会に対し、どのような諮問をするのか。  
**答** 学校再編への町の考え方は。地域住民の声を聞くための方法を、どのように考えているのか。

**学校教育課長** 変化する社会情勢の中、児童生徒にとって望ましい教育環境のあり方を議論する。統廃合を前提とはせず、あくまでも教育上の望ましい環境。町民に対しアンケート調査を実施する。対象は、全児童生徒とその保護者、高校生、一般住民等、5000人ぐらい行い、住民の声を聞く。



取り壊し中の上志比支所

**副町長** 人口減少などの社会情勢の変更により、今ある全ての公共施設を維持していけない。しかし、40年で36%は非常にハードルが高い。再編を考えていかなければ。  
**町長** 行政は、血も涙もないということはない。心から地元住民のことを考え、再編を考えていかなければいけない。

関心を持ってもらうことを念頭に置き、若者が興味を抱き参加できるようにしていく。  
**生涯学習課長** 来年度から新たな事業として青年層を対象とした講座

座を考えている。講座への参加を通じて地域活動や各種事業への参加を推進する。  
**【その他の質問】**  
**問** 体育・生涯学習施設の指定管理は。  
**答** 自主運営ができる団体への管理委託を含め、本町の施設にふさわしい方法について慎重に検討する。「公共施設再編の方向性」の2次計画で、改めて方針を定め、引き続き検討する。

**◆令和2年度の予算編成は**  
**問** 来年度の予算は、1、将来の厳しい財政への配慮。2、細かい部分の工事を。3、災害への備え。4、限られた人数で効果的な行政サービスを。4つのポイントを掲げたが、具体的には。  
**財政課長** 上志比山王地区での宅地造成や危険個所の計画的な予防や保全を図ることなどを考えている。

## 《子どもの通園・通学路の安全を考える》

**意見** 町立診療所の交差点に隅切りができたがスペースが狭く、集団登校の信号待ち中に、子ども同士が押し合いして縁石で転倒したり、田んぼに落下しないか。縁石の上にフェンスを張るなど、転落防止対策をお願いする。また、歩車道境には赤いラバンが立っているが、子ども達を車から守るためには鉄製の物が必要。【渡新田生活改善センター】

**行政** 隅切り工事の施工に関しては、福井警察署や御陵小学校と協議した上で整備を行ったが、転落防止柵の設置及び鉄製ポールへの交換については、交通安全の面から、実施する方向で検討する。

**意見** 中学生の通学路は旧道の上の道。茂みで暗い笹山当りは熊が危ない。山側の木を伐採したらどうか。志比北地区連絡協議会でも下草刈をやっているが。【谷ふれあい会館】

**行政** 山側の木については、年2回の法面除草や道路照明の増設を行ってきたが、成長した立木が道路照明灯を遮ったり、視界不良など通行の支障になっている。所有者と協議の上、伐採させて頂くことを検討している。

また山林所有者の方には、山林整備支援の町単独の造林事業補助金がある。支障木の伐採に係る町単独補助事業を現在検討中。

**要望** 町道藤巻大月線歩道整備の早期完成をお願いしたい。【大月集落センター】

**行政** 歩道新設は三角花壇区間は整備済。令和2年度に大月地係の歩道整備を行い事業完了予定。

**要望** 保育園の駐車場がなさすぎる。再編時に駐車場の拡張を。見守り隊の空白地帯が出てきている。費用弁償など見守り隊の支援制度を作って欲しい。【松岡ふるさと学習館】

**行政** 駐車場の必要性については、再編の課題として検討している。見守りにについては、見守り隊以外にも、PTAのパトロールや、沿線住民や事業者が日常生活や活動の中で行う「ながら見守り」など。活動支援については、これまでどおり善意による無償ボランティアでお願いしたい。なお、見守り隊は、事故に備えた保険に加入している。その他、地区の防犯カメラ設置に対する補助制度や保護者一斉メール・防災メールを活用した不審

町民の声を  
議会へ

ダイジェスト版

# 議会と語り合

(※ 質疑内容抜粋)

町内9会場で開催し、3日間で延べ101人の方が会場に足を運んでくださいました。

## 町民からの質問・要望等への回答 令和元年10月23日24日25日 実施

### 「子どもの通園・通学路の安全を考える」 「信頼される議会を目指して～議会改革の歩み～」

者情報・害獣情報の提供などを行っている。

**要望** 古市橋の両側に歩道が無い。相当遠回りして商店に行く状態。車の交通量が多すぎるため危ない。【法寺岡集落生活改善センター】

**行政** 古市橋の利用状況や交通状況を踏まえて、実状に応じた歩道空間の確保のための効果的な安全対策を行うよう管理者である県に要望する。

**要望** 子どもの通学ルート、歩道帯の除雪は早めをお願いしたい。子どもたちは、車道の車が通らない所を選んで歩いているが、冬期は道幅が狭くなるうえ、車のスピードが速いので困る。【中島生活改善センター】

**行政** 除雪作業は、午前2時より町内全域をパトロールし、出動する場合は午前3時に除雪委託業者に出動連絡を行い、通勤通学時間帯までに作業を終えるよう指導している。また、各区長との除雪意見交換会においては、通学路優先や歩行空間の確保などの意見もある。降雪、除排雪状況によっては除雪作業が遅れることも考えられ、早めの出動を行うなど除雪進捗が図れるよう努める。



**要望** 大雪のとき松岡薬師3丁目は袋小路で行きようがない。融雪が欲しいと要望したが。

【松岡薬師3丁目区民会館】

**議会** 行政から地区へ、融雪水の確保が困難なため融雪はできないと回答している。融雪の水が確保できず機械除雪で対応している地区は他にもあり、ご理解頂きたい。

**問** 防犯カメラは町で付けないのか。公共施設は行政がつけるのか。町で1個か。

【湯谷集落センター】

**議会** 令和元年から、区民の同意をもって区が防犯カメラを設置する場合は、1年に1ヶ所分10万円（ほぼ設置初期費用がでる額。電気代等維持コストは区負担）の補助がある。公共施設は町がつける。地区で1個、2個目は次年度の申請になる。

**行政** 現在、1ヶ所上限15万円に変更を検討中。

#### 《信頼される議会を目指して～議会改革の歩み》

**意見** 議員報酬が低すぎる。都会の企業の初任給くらい。議員の担い手不足が喫緊の課題。上げればいいと思う。これでは生活ができない。

【松岡ふるさと学習館】

**議会** 何年か前の議員定数削減時に、報酬の件も伺った。定数削減したから報酬引上げかと難色を示される方、引上げていいのでその分いい仕事をして欲しいと言われる方、様々だった。バイトしながら議員活動し、奥様に肩身が狭いと実感してきた議員もいる。年金を受給しており、周囲の町民の皆様の反応も踏まえ、現状でいいと思う議員もいる。現状水準は特に、家族を持つ若手議員には厳しい水準にあ

り、報酬改定が今後の議会の担い手不足解消の一つの要件であることはいえる。

**問** 「行政・議会は車の両輪」が地方自治の原則だが、議会はPR不足。議会の仕事の見える化で若者が立候補するのでは。誰でも議員になれるという距離の近さが必要。議員の仕事が皆分かっていないのは、仕事をしているから議会中継が見られないためではないか。

【諏訪問ふれあい会館】

**議会** 議会中継やFacebook、議会だより色々しているが壁があるような気がする。議会中継も見ているという方が変わらないと感じる。議会中継を今は生放送で行っているが、町民が視聴しやすい時間帯にできるよう議会で検討を行う。

#### 《その他》

**問** 九頭竜川の河川敷や中州の樹木の伐採をしないと洪水の危険がある。今年の台風被害を踏まえて、シュミレーション等の対策を取り、公表して欲しい。また、幹線排水路対策はどうなっているか。

【渡新田生活改善センター】

**行政** 国交省に確認したところ、町内堤防の一部区間に於いて計画断面を確保しない区間があるため、今後測量設計等を行い、事業実施箇所および時期を検討していくとの回答。渡新田付近の雑木林は今年度伐採に入り、繰越して来年度にも計画伐採が続くと聞く。また、御陵地区内排水路の内水氾濫対策としては、国交省と締結した災害時応援申し合せにより、排水ポンプ車と災害対策用機械を借りて対応することを考えている。

**問** 今まではバスでラッキーに買い物にすぐ行けた。今はデイジーまで歩かないといけない。バス路線の変更は出来ないか。また、ラッキー跡の見通しは。

【湯谷集落センター】

**議会** ラッキー跡の見通しについては、ラッキーの土地建物売却が完了し、新所有者（民間会社）が利用方法を検討している。（現時点で未定）

**行政** 吉野地区から店舗まで乗り継ぎの路線がある。役場で「マイ時刻表」が作れるので、ご活用下さい。施設管理者やバス事業者等と協議し、ダイヤ変更が可能か検討する。

※行政回答は議会が行政に確認した内容を記載しています。

# 議会・各委員会の議員出欠状況

令和元年9月30日～令和元年12月23日

議員名(議席番号順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
	松川 正樹	上田 誠	中村 勘太郎	金元 直栄	滝波 登喜男	齋藤 則男	奥野 正司	伊藤 博夫	長岡 千恵子	川崎 直文	酒井 和美	酒井 秀和	朝井 征一郎	江守 勲		
出席回数	33.5	31	32	29	34.5	29	31	29	31	35	31	30	29	29		
会議回数	35	33	33	29	35	29	31	29	31	35	31	31	29	29		
出席率	96%	94%	97%	100%	99%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	97%	100%	100%		
No.	日付	会議名	○…出席 ×…欠席 —…員外 △…遅・早 研…研修 傍…傍聴 弔…弔事													
1	9/30	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	10/1	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	○	○	○	—	—		
3	10/2	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
4	10/3	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	○	○	○	—	傍		
5	10/7	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	—	—	○	—	—	傍		
6	10/8	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	—	○		
7	10/15	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
8	10/15	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
9	10/15	決算審査(第1審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
10	10/17	決算審査(第1審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
11	10/21	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
12	10/23	全員協議会	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
13	10/23	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	○	—		
14	10/29	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
15	10/29	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
16	10/29	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	—	—	—		
17	10/30	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
18	10/30	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
19	11/7	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	—	—	傍		
20	11/8	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	—	○		
21	11/11	全員協議会	○	×	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○		
22	11/19~ ~11/20	全体視察研修	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
23	11/22	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
24	11/26	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	○	—		
25	11/29	議会改革特別委員会	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
26	11/29	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
27	12/2	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
28	12/2	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
29	12/2	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	—	—	傍		
30	12/9	本会議(一般質問1日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
31	12/10	本会議(一般質問2日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
32	12/11	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
34	12/12	本会議	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
35	12/13	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	—	○	—	○	×	—	○		
36	12/13	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	○	—		
37	12/18	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
38	12/18	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
39	12/23	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

# 議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに  
随時更新中!

10/4  
議員研修会  
(南越前町)



12/10  
町村議会議員  
表彰式



10/28  
議員研修会  
(自治会館)



12/23  
年末大掃除



1/5 永平寺町消防出初式

傍聴にお越しください

## 3月定例会 (予定)

生中継

2月25日(火) 10時～ [本会議]  
 3月 2日(月)・3日(火) 9時～ [一般質問]  
 3月 4日(水)・5日(木)・6日(金)・9日(月)・10日(火)  
 13日(金)・16日(月) 9時～ [本会議・第1審議・第2審議]  
 3月 18日(水) 10時～ [本会議・第3審議・採決]  
 3月 19日(木) [予備日]

○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。  
 ○会議は傍聴することができます。役場本庁西側の階段を上がって、3階議場傍聴席にお越しください。  
 ★事前申し込み不要 ★バリアフリー、エレベーター完備

## 地デジ121ch 行政チャンネル週間番組表 放送期間 2020年2月14日(金)～2月18日(火)

時	2月14日(金)	2月15日(土)	2月16日(日)	2月17日(月)	2月18日(火)	時
10	12月2日 第4回定例会(約20分) (開会・町長招集あいさつ)	12月9日 一般質問② (約1時間28分) 酒井 秀和議員・朝井征一郎議員	12月9日 一般質問④ (約1時間30分) 齋藤 則男議員・金元 直栄議員	12月10日 一般質問② (約2時間) 上田 誠議員・川崎 直文議員	12月12日 本会議 (約2時間40分) 12月補正予算審議	10
11						11
12						12
5						5
21						21
22	12月8日 一般質問① (約1時間12分) 長岡千恵子議員・中村勘太郎議員	12月9日 一般質問③ (約2時間10分) 松川 正樹議員・酒井 和美議員	12月10日 一般質問①(約40分) 金元 直栄議員・伊藤 博夫議員	12月10日 一般質問③ (約2時間20分) 滝波登喜男議員・奥野 正司議員	12月18日 本会議 (約1時間12分) 12月補正予算採決	22
23						23

★ テレビ番組の構成上、番組表はあくまでも予定時間であり、開始時間の遅れが生じることがあります。詳細につきましては、リモコンの番組表でご確認ください。(午前10時～12時頃、午後10時～12時頃) お手数をおかけして、誠に申し訳ございませんが、ご理解と協力をお願いいたします。

# 「互いの協力関係を育む」

## 永平寺BVスポーツ少年団

チームの信念は、何事にも楽しく一所懸命に、声を出して。時に厳しい練習メニューも子ども達は笑顔で取り組む。ボールをつないだ先にある勝利を信じて。



### ◆お互いが協力し合える関係づくり

平成9年5月に結成した当団。現在は永平寺町内の各小学校から集まった小学校2年生から5年生の児童12人が週4回の練習に汗を流している。普段の学校生活では培えないスポーツを通じた交流や指導者が心の成長を見守ることでお互いが協力し合える関係づくりを育んでいる。

### ◆目標は県大会出場

永平寺町は奥越地区に所属しており、地区大会上位2チームが県大会に進むことができる。新チームは5年生が1人だが、4年生が4人、3年生が4人と将来有望。県大会出場に向けて日々練習に励んでいる。

### ◆スポーツ大会で優秀賞

これまでチームとしてなかなか「勝ち」に恵まれなかったが、2019年9月の大会では第3セットまでもつれる熱戦が続く。いつもなら突き放されるところで、あきらめずボー



ルをつないだ結果、6年生の連続サービスエースがチームに勢いを与え勝ち切ることができた。新キャプテンの竹沢さんは監督の教えの一つ「声を出す」ことでボールに集中できたし、チームメイトが自主的に動くことができた、ボールをつなぐ意識が高まったのが勝因だったと話している。

### ◆自主性を高めるために

新チームになり、子ども達だけで目標を「声を掛け合うこと」に決めた。自主的に声を掛け合い、チームの士気を高められるようになってきたと監督や保護者の方々も温かく見守っている。

### ◆随時、見学・体験受付中

練習は週4回（水：松岡小・金：永平寺中・土日：上志比中）実施。月1～2回の練習試合や公式戦、合宿やお泊り会など楽しく活動しています。永平寺町内すべての小学生が対象。保護者・町内の方で指導いただける方も募集中。（酒井秀 記）

## 編集者のひと言

10月「議会と語ろう会」を9地区の集会場で開催させて頂きました。

全国で相次ぐ通学途上での事件・事故で、子ども達が被害者となるケースが続く「子どもの安全を考える」通園通学路は安全か」という事で、地区住民の皆様が感じている地域の危険性を伺いました。

また、一昨年の町議選挙もそうでしたが、進む投票率低下や他所では候補者不足から無投票当選となる事例も相次ぎ「信頼される議会を目指して」として、議会が取り組んだ議会改革や議員待遇現状もお示しし、皆様のご意見を伺いました。

地区課題や提言も頂きましたが、地区課題の討議が最も熱く、地区を見ずして町は語れないと感じました。

（奥野 記）

### 議会広報特別委員会委員

委員長 奥野 正 司  
副委員長 松川 正 樹  
委員 滝波 登喜男・長岡 千恵子  
川崎 直文・酒井 和美  
酒井 秀和

### 発行責任者

議長 江守 勲